

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		趣旨普及事業				②事業番号		4107			
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和	年度	⑤終了予定年度		年度	○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称			
⑦実施手法		○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他					
⑧関連予算科目コード		款	1	項	4	目	1	細目	1		
⑨担当部名		福祉保険部		⑩担当課名		保険年金課		会計			
								国民健康保険事業特別会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 国民健康保険加入世帯		① 加入世帯数(年度末)		世帯	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
被保険者に対し、パンフレット等啓発物を配布することにより、国民健康保険制度の周知を図り、適切な保険制度の利用を促進する。		① 国保ガイドブックの配布		回	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
国民健康保険制度の趣旨を被保険者に周知するのは保険者としての義務であり、また理解してもらうことにより適切な保険制度の利用を促す。		① 国保ガイドブックの配布消化率		率	
		計算式 購入数÷窓口相談配布数			
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
国民健康保険制度を被保険者に理解してもらうことで、医療費の適正化につながり、また被保険者の健康増進にも寄与することになる。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち			
		施策大(節) 2 すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします			
		施策中 1 医療環境の充実			
		施策小 4 国民健康保険の健全な運営			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		加入世帯数(年度末)	世帯	9,085	8,919	8,901	8,883	8,865	
対象指標②									
活動指標①		国保ガイドブックの配布	回	1	1	1	1	1	
活動指標②									—
活動指標③									
成果指標①		国保ガイドブックの配布消化率	率	100	100	100	100	100	
成果指標②									
成果指標③									事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
事業費	投入人員	正職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	81	77	76	76		
		直接事業費	千円	101	165	157	176		
		総事業費	千円	182	242	233	252		
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		—
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	0	0	0	0		
	一般財源		千円	182	182	242	233		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	国民健康保険の制度や趣旨を広く被保険者に周知するのは保険者の義務であることから事業を開始した。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	国民健康保険制度は毎年変更となるので、その都度、制度周知を行う必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

B

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	周知方法の多様化。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	被保険者にとって一番わかりやすい手法は何かを検証する必要がある。